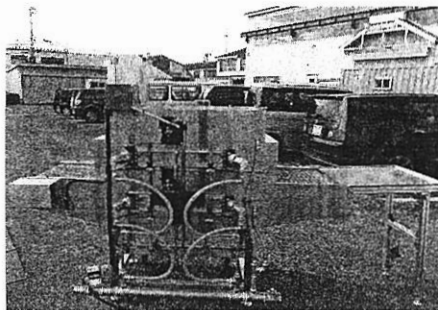


農機製造販売に参入

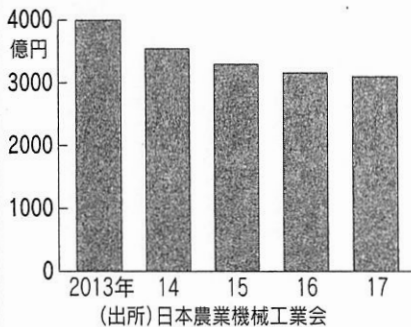
長岡のJPC

産業機械の受託開発などを手掛けるJPC(新潟県長岡市)は農業機械の製造販売事業に参入する。長岡市大口地区の主力生産物であるレンコンの洗浄機を開発した。2年後をめぐり量産化し、自社ブランドで販売する。農家の減少や高齢化などで国内の農機市場は縮小傾向だが、作業負担の軽減につながる農機の需要は見込めると判断した。



水圧やノズルの位置などを工夫し洗浄力を高めたレンコン洗浄機

農機の国内向け出荷額は減少傾向



同社が開発した洗浄機は、従来機より水量や水圧を高めて洗浄力を向上させた。ノズルの角度を変えられるようにして、汚れが落ちにくい部分を集中して洗う。コンベヤ

レンコン洗浄用 ニッチ分野開拓

の搬送速度も調節できる機能を付けた。

長岡市のレンコン農家が試験使用し、意見を反映して改良を加える。量産化に向け小型・軽量化を進め、100万円以下の製品価格を目指す。

レンコンは地中深くから掘り出し、さまざまな土質のドロが付着している。従来の洗浄機では、節の部分などについた粘土質のドロが落としにくく、手作業でブラシをかけたたりしなければならなかった。洗浄品質の向上や高速洗浄を求める農家の声を

受け、長岡市の補助金を使って開発した。

長岡市大口地区は、新潟県を代表するレンコンの産地。「大口れんこん」はシャキシャキとした歯触りと甘み特徴。大口れんこん生産組合が事務局を置くJAにいがた南蒲によると、17年産の出荷量は12000ト、販売額は4億8000万円だった。

日本農業機械工業会によると、洗浄機などの作業機を含む農機の2017年の国内向け出荷額は前年比2%減の3101億円。農家の減少などで減少傾向が続いているが、JPCは「作業負担を軽減する機械などニッチな分野を開拓したい」(吉原誠社長)としている。

同社は06年に創業。産業機械の設計・組み立てや、製造業への人材派遣などを手掛ける。製造業の活発な設備投資を背景に、18年7月期の売上高は10億円超と前期に比べ約6割の増加を見込む。売り上げの約半分を人材派遣事業が占めている。産業機械は景気の波を受けやすく、農機を収益の柱の1つに育てる。